

指導と評価の年間計画

| | | |
|---------|-----------------------------|---------|
| 教科：現代社会 | 使用教科書：高等学校 改訂版 新現代社会（第一学習社） | 単位数：2単位 |
|---------|-----------------------------|---------|

| 月 | 単元名 | 使用教科書項目(第一学習社新現代社会) | 時 | 主な学習活動(指導内容)・言語活動と評価のポイント | 評価方法 |
|----------------------|-----------------------|---|----|--|---|
| | | 目標 【学習指導要領】人間の尊重と科学的な研究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。 | | | |
| | | 到達目標に 向けての 具体的な取組 | | <ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味・関心をもって意欲的に授業に取り組むことができる導入として、現代社会の諸課題の中から生命、情報、環境などについて調べ、発表する学習を冒頭に行う。 現代社会の基本的な問題と人間に関わる課題を自己の問題・課題として考察することができるように、身近な時事問題を授業に取り入れる。 有用な情報を主体的に選択し活用する技能を習得するため、情報機器を利用した資料収集を実施し、その資料の読み取り、まとめ、発表をして、論理的な思考力と表現力が身に付くようにする。 定期考査においても観点別に問題の作成を行い、知識理解のみならず思考力、表現力も評価できるような方法を工夫し、生徒の多面的な能力評価を行う。 | |
| 4月 | 第1編 現代に生きるわたしたちの課題 | はじめに 課題の設定と調査計画の設定 | 1 | ・第1編現代社会の諸課題について調べ学習を行うことを説明し、その導入として新聞の読み方やインターネットを利用した調べ学習の方法について考える。評価の規準についても確認する。 ・環境問題については、分かりやすくまとめた発表ができるようにする。 | ・発表 ・収集資料提出 ・発表作品を相互評価、自己評価 |
| 1 環境と私たちの生活 | | 2 | | | |
| ①かけがえのない地球 | | 2 | | | |
| ②むしばまれる地球の環境(1) | | 2 | | | |
| 5月 | 第2編 | ③むしばまれる地球の環境(2) | 2 | ・2作目の課題に対する調べ学習として、新聞等で身近な問題を収集して発表をする。 ・豊かさとは何かについて考え、大切にすべき価値観などについて思考し、自分の言葉でまとめることができる。 | ・発表 ・資料提出 |
| 4 私たちの地球を守るために | | 2 | | | |
| 6月 | 第1章 現代社会の特質と社会生活 | 5 豊かな生活と福祉社会 | 1 | ・現代社会の特質としての大衆社会、国際化社会について身近な事例を通して理解する。 | ・プリント確認 |
| | | ①豊かな生活とは何か | 1 | | |
| | ②福祉社会を実現するために | 2 | | | |
| | ④国際化社会 | 2 | | | |
| 7月 | 第2章 現代に生きる青年 | ①青年期とは | 1 | ・青年期とはライフサイクルの中でどのような意味をもつ時期なのかを考察する。 ・考査では、調べ学習において身に付けた 表現する力 をみる問題を取り入れる。 ・職業の意義について理解し、職業選択と生きがいについて考える。各自の将来についてまとめる。 | ・意見発表 ・考査問題 ・プリントの内容 ・ノート点検 |
| | | ②青年期を充実させるために | 1 | | |
| | <前期中間考査> | 1 | | | |
| | テスト返却 | 1 | | | |
| | ③自立に向けて | 1 | | | |
| 9月 | 第3章 現代の経済社会と私たちの生活 | ④社会とのかかわり | 1 | ・産業構造の変化について理解する。 ・現代の企業もつ特徴を多面的に考察する。 ・市場経済の仕組みを身近な事例に置き換えて考察することで今の日本経済の状況を新聞等の資料を通して理解する。 ・経済主体の関係性と財政の役割について理解する。 ・バブルとその崩壊から、現在の経済状況に至った原因と今後の見通しを、様々な資料を準備して理解し、考察する。 ・日本の農業の特徴を理解し、課題について考察する。 ・社会保障制度について資料を読み取り、課題を発見し、それについて考察する。 ・公害について理解を深め、環境保全の取組を考察する。 ・消費者問題について具体的に取り上げ、その対処方法を理解する。 ・新聞等からの読み取り、考察内容をテストに取り入れる。 | ・プリント確認 ・資料から読み取った内容を評価 ・課題テスト実施 ・視覚資料の感想を提出 ・意見発表 ・相互評価 ・ノート点検 |
| | | ⑤私たちの生きがい | 1 | | |
| | | ①技術革新の進展と産業構造の変化 | 1 | | |
| | | ②企業の役割と社会的責任 | 1 | | |
| | | ③市場のしくみ | 1 | | |
| | | ④政府の経済的役割 | 1 | | |
| | | ⑤財政のしくみと税金 | 1 | | |
| | | ⑥金融機関のはたらき ⑦日本経済のあゆみ | 2 | | |
| | | ⑧中小企業の現状と役割 ⑨日本の農業と食糧問題 | 2 | | |
| | | ⑩雇用と今日の労働問題 ⑪労働環境の整備 | 2 | | |
| 10月 | 第4章 国際経済の動向と日本の役割 | ⑫社会保障と福祉社会 | 1 | ・国際社会における貧困や格差について考察する。(貿易ゲームの実施) ・現在の国際社会における経済の基本的な仕組みを理解する。 ・国際社会における日本の位置と役割を各自の視点から考察し、意見を交換する。 | ・意見発表 ・小テスト ・シミュレーションへの参加の様子 |
| ⑬公害の防止から環境保全へ | | 1 | | | |
| ⑭消費者問題と消費者主権 | | 1 | | | |
| <前期期末考査> | | 1 | | | |
| テスト返却 関心のある経済ニュースの発表 | | 1 | | | |
| ①世界の経済体制の動向 | | 1 | | | |
| 11月 | 第5章 現代の民主政治と私たちの生活 | ②国際分業と貿易 | 1 | ・憲法の制定過程と三つの原則について理解する。 ・生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等、法と規範について様々な判例よりその認識を深める。 ・討論の方法としてディベート、ロールプレイの手法を学習し、資料を収集、判例を利用してグループで実践する。 ・社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえた判断の仕方を知得する。 ・国会を中心とした国民参政の方法を通じて国民主権が実現されている仕組みを理解する。 ・構造改革、司法改革などとも関連付けて三権を理解する。 ・身近な政治参加、世論形成の方法を考察し、地域での活動に結び付けられるよう意識付けをする。 ・我が国の平和主義と平和の維持を関連付けて考察する。 | ・討論による相互評価、自己評価 ・判例として収集した資料を提出 ・プリント確認 ・意見発表 ・定期考査 ・ノート点検 |
| ③国際収支と為替相場 | | 1 | | | |
| ④日本の貿易 | | 1 | | | |
| ⑤国際協力と国際組織の役割 | | 1 | | | |
| ⑥発展途上国と南北問題 | | 1 | | | |
| ①個人と国家 ②基本的人権と法の支配 | | 1 | | | |
| ③世界の政治体制 ④日本国憲法の基本原理 | | 1 | | | |
| ⑤憲法第9条と自衛隊 ⑥日本の安全保障 | | 1 | | | |
| ⑦平等に生きる権利と自由に生きる権利 | | 1 | | | |
| ⑧豊かに生きる権利 ⑨新しい人権 | | 1 | | | |
| 12月 | 第6章 国際政治の動向と日本の役割 | ⑩基本的人権と公共の福祉 | 1 | ・労働力、資本、技術、情報などが地球規模で移動し、国際的な依存関係が緊密化化の中での、世界各国の様子を理解する。 ・国際社会や国際協力、国際平和という概念を具体的事例を通して興味をもって理解する。 ・国連の活動と日本の果たすべき役割を考察する。 ・国際問題に興味・関心をもち、その中で日本の役割について討論する。 | ・ビデオを視聴した感想 ・討論への参加態度 ・プリント確認 |
| <後期中間考査> | | 1 | | | |
| テストの返却 ⑪裁判所と人権保障 | | 1 | | | |
| ⑫国会の運営と権限 | | 1 | | | |
| ⑬内閣と行政の民主化 | | 1 | | | |
| ⑭地方自治と住民の福祉 | | 1 | | | |
| 1月 | 第7章 民主社会の倫理 | ⑮選挙制度の現状と課題 | 1 | ・個人と社会の関係、また現代社会と将来の社会との関係に注目しながら、現代社会に生きる一員として必要な考え方を身に付ける。 ・考査は、知識理解についての問題と、思考・考察させる問題や自分の考えを表現させる問題を取り入れる。 | ・プリント・ノート点検 ・討論による相互評価、自己評価 |
| ⑯世論の形成と政治参加 | | 1 | | | |
| ①第二次世界大戦後の国際社会 | | 1 | | | |
| ②国家主権と国際法 ③国境と領土問題 | | 2 | | | |
| 2月 | 第7章 民主社会の倫理 | ④地域紛争と人種・民族問題 | 1 | ・国際社会や国際協力、国際平和という概念を具体的事例を通して興味をもって理解する。 ・国連の活動と日本の果たすべき役割を考察する。 | ・ビデオを視聴した感想 ・討論への参加態度 ・プリント確認 |
| ⑤国際連合の役割 | | 1 | | | |
| 3月 | 第7章 民主社会の倫理 | ⑥核兵器の廃絶と国際平和 | 1 | ・国際問題に興味・関心をもち、その中で日本の役割について討論する。 | ・プリント・ノート点検 ・討論による相互評価、自己評価 |
| | | ⑦日本の外交 | 1 | | |
| | | ⑧日本の役割と日本人の生き方 | 1 | | |
| | | ⑨平等な社会に向けて | 1 | | |
| | | <後期末考査> 考査返却・年間の反省 | 1 | | |
| | | 合計 | 70 | | |

単元の指導計画（現代社会）

・単元「企業の役割と社会的責任」

・単元目標

現代の企業に関する基本的な知識を身に付け、企業は利潤を追求するだけでなく、雇用の促進や技術の開発などを通して地域社会や経済社会の発展に寄与する社会的責任があることを理解する。その上で、生産者である企業はどのようにあるべきかを考察する。

・単元の評価規準

| | 内容のまとめりごとの評価規準 | 単元の評価規準 | 学習活動における具体的評価規準 |
|---|---|---|---|
| ア 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度 | <ul style="list-style-type: none"> 現代の経済社会の諸事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、経済活動の在り方について考えようとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> 現代の経済社会における企業の経済活動に対する関心が高まっている。 企業の経済活動における社会的責任について意欲的に追求している。 現代の経済社会における企業の経済活動の在り方について考えようとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ①自己の体験を振り返り、学習内容に関連する事項を拾い出すことができる。 ②教師の説明を理解し、意欲的に学習活動に参加しようとしている。 ③シミュレーションに積極的に参加している。 ④シミュレーションにおける意見交流で、他者の意見をしっかりと聞いている。 |
| イ 思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 | <ul style="list-style-type: none"> 現代の経済社会の諸事象から課題を見だし、個人と企業の経済活動における社会的責任などについて多面的・多角的に考察し、経済活動の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。 個人と企業の経済活動における社会的責任や経済活動の在り方を追求し、考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 | <ul style="list-style-type: none"> 現代の経済社会における企業の経済活動から課題を見だしている。 企業の経済活動における法的・社会的道義的責任について多面的・多角的に考察し、その結果を口頭や文章などで適切に説明している。 現代の経済活動における個人、企業の経済活動の在り方について、社会の変化や消費者、生産者など様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。 | <ul style="list-style-type: none"> ①株式会社と株主の関係について考察し、意見を言うことができる。 ②新聞記事から読み取った内容から、現在の企業に求められている責任について考え、意見を言うことができる。 ③シミュレーションの中で、自店の利益を上げるためにはどうしたらよいか、根拠をもって考えることができている。 ④考え判断した内容を、自分の言葉でワークシートにまとめている。 ⑤④の内容を自分の言葉でクラスへ報告することができる。 |
| ウ 技 能 | <ul style="list-style-type: none"> 現代の経済社会に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 | <ul style="list-style-type: none"> 現代の経済社会における企業の経済活動に関する諸資料を様々なメディアから収集している。 収集した資料から企業の社会的責任、経済活動の在り方などについての学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 | <ul style="list-style-type: none"> ①現代の企業に関する新聞記事の内容が読み取れる。 ②前時の学習内容と関連付けながら、会社設立の経緯などについて書かれた教科書本文の内容をつかむことができる。 |
| エ 知 識 ・ 理 解 | <ul style="list-style-type: none"> 現代の経済社会における技術革新と産業構造の変化、企業の働き、公的部門の役割と租税、金融機関の働き、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全について理解し、その知識を身に付けている。 | <ul style="list-style-type: none"> 現代の企業は、生産を高め利潤を追求するだけでなく、雇用の促進や技術の開発などを通して地域社会や経済社会の発展に寄与する社会的役割をもつことを理解し、その知識を身に付けている。 企業の経済活動における社会的な責任は、法的責任にとどまらず、環境保全や経済社会を担う責任ある組織として社会的道義的責任があることを理解し、その知識を身に付けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ①学習した内容を理解し、ノートにきちんとまとめている。 ②新しく学習した知識を、自分の言葉で説明することができる。 ③企業の経済活動や社会的責任について、理解を深めることができる。 |

・各時間の指導と評価の計画

| 時 | 主な学習内容 | 主な学習活動・具体的な評価規準 | 評価の方法・指導 |
|-------------|--|--|--|
| 第1時間目 | <ul style="list-style-type: none"> 身近な経済活動 3つの経済主体 企業の種類 所有と経営の分離 | <ul style="list-style-type: none"> 普段の生活から、自分自身と関わりのある経済活動の例(コンビニでジュースを買う、そのとき消費税を払っている、など)を挙げる。 【関心・意欲・態度】 三つの経済主体とそれぞれの関係について理解し、図にまとめる。 【知識・理解】【表現】 企業の種類について理解し、株式会社の基本的な仕組みに関する知識を身に付ける。 現代の経済社会において、株式会社が抱えている課題について考察し、発表する。 【思考・判断・表現】 | <ul style="list-style-type: none"> 積極的に考え、発言している。＜ア①＞ 先ほど出された意見を基にして、経済活動の流れを示す図がノートにまとめられている。＜エ①＞ 企業にはどのような種類があり、それらはどのように定義されているのか理解している。＜エ②＞ 企業の種類や有限責任・無限責任の意味を理解している。株式会社の定義が分かる。＜エ①＞ 株式会社と株主の関係について考察し、意見を言うことができる。＜イ①＞ |
| 第2時間目 | <ul style="list-style-type: none"> 企業の社会的責任 会社をつくる シミュレーションの説明 | <ul style="list-style-type: none"> 企業の不祥事を伝える新聞記事から、企業が現代の社会に与える影響を考察し、発表する。 【思・判・表】 企業のボランティア活動や環境保全活動について理解する。 【知・理】 教科書のコラム「ファイル2 会社をつくる」を参考に、会社をつくる過程を大まかにつかむ。 【技】 次時に行うシミュレーション活動について、目的と概要を理解する。 【関・意・態】 | <ul style="list-style-type: none"> 新聞記事の内容が読み取れる。＜ウ①＞ 読み取った内容から、現在の企業に求められている責任について考え、意見を言うことができる。＜ウ②＞ 企業が果たすべき役割にはどのようなものがあるか理解している。＜エ①②＞ 教科書の文章を読んで、前時の学習内容と関連付けながら、内容をつかむことができる。＜ウ②＞ 教師の説明を理解し、意欲的に活動に参加しようとしている。＜ア②＞ |
| 第3時間目 本時 | <ul style="list-style-type: none"> シミュレーション(1年目)を行う 経営方針の決定 出来事カードを引く 1年目の振り返り | <ul style="list-style-type: none"> 牛井屋シミュレーションを行い、会社経営を模擬体験する。 自店の利益を上げるためには、どのようにするとよいのか考え、班の中で積極的に意見を言う。 【思・判・表】 班内で考えて決定した内容と過程を、ワークシートに記入する。 【表】 出来事カードは自店の売上げにどのように影響したか考察する。 【思・判】 1年目の経営を振り返り、クラス内で交流する。 【表】【関・意・態】 | <ul style="list-style-type: none"> シミュレーションに意欲的に参加している。＜ア③＞ 自店の利益を上げるためには、どのようにするとよいのか、メリット・デメリットを比較して考えている。＜イ③＞ 経営方針を決定した根拠が、ワークシートに書かれている。＜イ④＞ 1年目の経営について班内で振り返り、何が売りに影響したかを考えてワークシートに記入している。＜イ③＞ 自店の状況を筋道を立ててクラスに話すことができる。＜イ⑤＞ 他者の発表を関心をもって聞き、自店の結果の参考にしている。＜ア④＞ |
| 第4時間目 | <ul style="list-style-type: none"> シミュレーション(2年目) 経営方針の見直し 出来事カードを引く シミュレーションのまとめ | <ul style="list-style-type: none"> 1年目の経営に基づき、2年目の経営方針を立てる。 自店の利益を上げるためには、どのようにするとよいのか考え、班の中で積極的に意見を言う。 【思・判・表】 班内で考えて決定した内容と過程を、ワークシートに記入する。 【表】 出来事カードは自店の売上げにどのように影響したか考察する。 【思・判】 2年間の経営の決算をする。 クラス内で結果を交流する。 シミュレーションを振り返り、経営に必要なことや、企業の社会的責任について考察する。 | <ul style="list-style-type: none"> 自店の利益を上げるためには、どのようにするとよいのか、1年目の他店の発表も参考に考え、班の中で積極的に発言している。＜ア①・イ③＞ 経営方針を決定した根拠が、ワークシートに書かれている。＜イ④＞ 出来事カードが自店の売上げにどのように影響したか考察し、ワークシートに記入する。＜イ④＞ 自店の経営に影響を与えたのはどのようなことであったか考察し、ワークシートに記入する。＜イ④＞ どのような経営をした店が売上げを上げたか、関心をもっている。＜ア④＞ シミュレーションを通して考えたことをワークシートにまとめる際、企業の経済活動や社会的責任について、述べている。＜イ④・エ③＞ |

現代社会 学習指導案

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---|--|--------------------|--|--------------|---|--------------|---|--------------|---|------------|---|--------------|---|----------------|---|---------|---|---------------|--|
| クラス | 1年4組 情報処理科 38名 (男子17名、女子21名) | | 場 所 | 1年4組教室 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用教科書 | 高等学校 改訂版 新現代社会(第一学習社) | 副教材等 | クローズアップ現代社会(第一学習社) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 単元名 | 第3章 現代の経済社会と私たちの生活 ②企業の役割と社会的責任 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本時の主題 | 会社をつくる ～牛丼屋を開店して市場経済の仕組みを体験しよう～ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本時の目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・経営する牛丼屋が利益を出すためには、どうしたらよいか考えて選択することができる。 【思考・判断】 ・選択した理由を書いてまとめ、発表することができる。 【表現】 ・これまでに学習した市場経済の仕組みに関する知識を、牛丼屋の経営に生かすことができる。 【知識・理解】 ・グループでの活動に意欲的に参加し、仲間の考えを聞いたり自分の考えを述べるすることができる。【関心・意欲・態度】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 過程 | 指導の内容 | 学 習 内 容 | | 指導上の留意点・観点別評価 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 導入 5分 | 本時の目標と活動内容の概要を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「牛丼屋経営シミュレーション」のルールなどを説明する。 <ul style="list-style-type: none"> a 資金…200万円を銀行から借りる。 ※1年で10万円の利子を返済する。 b 牛丼1杯の費用は光熱費も込みで200円。 c 店を開く場所を借りるのに、月10万円必要。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業で学習した経済の仕組みを、シミュレーションを通じて体験的に理解することが目的であることを説明する。 ・ルールを理解し、意欲的に参加しようとしているか。 【関・意・態】 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 展開 30分 | 「牛丼屋経営シミュレーション」を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ①牛丼屋経営の基本方針を考え、決定する。 牛丼1食の値段、アルバイトの人数、環境対策の三点について決定し、決定理由をワークシートに記入する。 ②利益の予測を立てる。 見込まれる売上げ数を伝え、その数字を元に計算する。 ③無事開店するも、予想外の出来事が起こる。 (下表のような出来事カードから各グループ2枚を引く。) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">イ</td> <td style="width: 25%;">政府が環境補助金を給付!</td> <td style="width: 25%;">ホ</td> <td style="width: 25%;">近くに大型団地ができた!</td> </tr> <tr> <td>ロ</td> <td>アルバイトが急に辞めた!</td> <td>へ</td> <td>情報誌で紹介された!</td> </tr> <tr> <td>ハ</td> <td>近所にライバル店が出現!</td> <td>ト</td> <td>テレビの健康番組で牛肉批判!</td> </tr> <tr> <td>ニ</td> <td>強盗が入った!</td> <td>チ</td> <td>原材料の牛肉が値上がった!</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ④出来事を受けて、1年間の利益を計算する。 (年間予想利益)－(1枚目のカードによる増減)－(2枚目のカードによる増減)＝1年目の利益 | | イ | 政府が環境補助金を給付! | ホ | 近くに大型団地ができた! | ロ | アルバイトが急に辞めた! | へ | 情報誌で紹介された! | ハ | 近所にライバル店が出現! | ト | テレビの健康番組で牛肉批判! | ニ | 強盗が入った! | チ | 原材料の牛肉が値上がった! | <ul style="list-style-type: none"> ・「なんとなく」の選択をさせないように、それぞれのメリット・デメリットに注意させる。 ・利益につながる選択を、根拠をもってしようとしているか。 【思・判】 ・ワークシートの計算式を参考に正しく算出させる。 ・正しく計算できているか。 ・今年度の利益とその要因について、自分の考えをワークシートにまとめる。 【表】 ・これまでに学習した知識が生かされているか。 【知・理】 |
| イ | 政府が環境補助金を給付! | ホ | 近くに大型団地ができた! | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ロ | アルバイトが急に辞めた! | へ | 情報誌で紹介された! | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ハ | 近所にライバル店が出現! | ト | テレビの健康番組で牛肉批判! | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ニ | 強盗が入った! | チ | 原材料の牛肉が値上がった! | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| まとめ 15分 | 本時の学習内容をまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1年目の利益について、グループで見直す。 開店前の利益予想と比べてどうであったか。また、その要因となったのはどのようなことであったか。 ・1年目の利益とその要因について、クラス内で発表し、交流する。 ・他店の発表を参考に、1年目の経営に影響を与えた事柄について、ワークシートにまとめる。 ・次時の活動の予告をする。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・グループの代表が、今年度の経営について発表する。 【表】 ・他店の発言を自分のグループの結果と比べながら聞いているか。 【態】 ・他店の発表内容から考えたことを、自分の言葉でまとめることができているか。 【表】 | | | | | | | | | | | | | | | | |

参考資料：牛丼屋経営シミュレーション2「△△屋、牛丼屋を開店する。」(財団法人 日本経済教育センター)

牛丼屋シミュレーション Aさん、牛丼屋を開店する。

個人シート

1年 組 番 氏名

本時の目標

- ・基本方針を決めるに当たって考えたいこと

○牛丼1食の価格設定

| | メリット | デメリット |
|------|------|-------|
| 高くする | | |
| 安くする | | |

○アルバイト

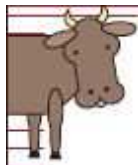
| | メリット | デメリット |
|------|------|-------|
| 雇う | | |
| 雇わない | | |

○環境対策

| | メリット | デメリット |
|-----|------|-------|
| する | | |
| しない | | |

- ・他店の経営について聞こう

- ・他店にはどのようなことが起きていただろう。
- ・他店が工夫していた点は何だろう。
- ・来年度の経営計画を立てるに当たり、考えるとよいことはどのようなことだろう。



牛丼屋シミュレーション

Aさん、牛丼屋を開店する。



Aさんは、会社を辞めて牛丼屋を始めることにした。

果たして、うまくいくのだろうか？

<開店準備>

(店の名前) _____ のメンバー

| | |
|----|--|
| 店長 | |
| | |

ルール

- ・開店資金は700万円。→Aさんの退職金500万円と、銀行からの**借入れ200万円**
- ・銀行から借入れた200万円について、**1年で利子10万円を返済**しなければいけない。
- ・**牛丼1食**に必要な「たまねぎ」、「米」、「牛肉」などの材料費と「ガス」、「電気」などの光熱費は、合わせて**200円**
- ・店を開く**場所**を借りるために、**1月10万円**必要

①牛丼屋経営の基本方針を考えよう

| あ 牛丼1食の価格 | い アルバイト | う 環境対策 |
|-----------|-------------|--------|
| 円 | 人雇う(0人でもよい) | する・しない |
| 理由 | 理由 | 理由 |

②利益を予想しよう (開店後、1年間で計算しよう)

- {(牛丼1食 円) - (材料費等 200円)} × 売上げ 万食
- (場所代 120万円)
 - (アルバイト賃金 100万円 × 人) - (環境対策コスト 万円)
 - (銀行への返済 210万円)

= 利益予想 円

<開店後>

③カードを引こう

| カードの内容 | 売上げ食数の増減 | 利益の増減額 |
|--------|----------|--------|
| カード1 | 千食 | 万円 |
| カード2 | 千食 | 万円 |

<1年目を終えて>

④1年間の利益を計算しよう

利益予想 円

± カード1 万円 ± カード2 万円

= 万円(年間利益) 予想より(増えた ・ 減った)。

⑤1年目の経営を振り返ろう

その要因はなんだろう？(今までに学習した知識を使って書いてみよう。)

⑥2年目の経営方針を決めるに当たって、店の経営にはどのようなことが大切なのか考えよう

⑦来年度の経営計画を立てよう

| | | |
|-----------|---------|--------|
| あ 牛丼1食の価格 | い アルバイト | う 環境対策 |
| 円 | 人雇う | する・しない |
| 理由 | 理由 | 理由 |

<2年目の経営>

⑧2年目の利益を予想しよう

(2年目の1年間で計算しよう。2年目は銀行への返済はありません。)

$$\begin{aligned} & \{(\text{牛丼1食 } \boxed{} \text{円}) - (\text{材料費等 } 200 \text{円})\} \times \text{売上げ } \boxed{} \text{万食} \\ & - (\text{場所代 } 120 \text{万円}) \\ & - (\text{アルバイト賃金 } 100 \text{万円} \times \boxed{} \text{人}) - (\text{環境対策コスト } \boxed{} \text{万円}) \\ & = \boxed{} \text{2年目の利益予想} \quad \text{円} \end{aligned}$$

⑨カードを引こう

| カードの内容 | 売り上げ食数の増減 | 利益の増減額 |
|--------|-----------|--------|
| カード1 | 千食 | 万円 |
| カード2 | 千食 | 万円 |

※2年目の経営方針を決めるとき、カードを引くことを予測していましたか？
それはどのような予測で、経営方針の決定にどのような影響を与えましたか？

<2年目を終えて>

⑩1年間の利益を計算しよう



利益予想 円

±カード1 万円 ±カード2 万円

= 万円(年間利益) 1年目より(増えた・減った)。

その要因はなんだろう？(今までに学習した知識を使って書いてみよう。)

⑪2年間の利益を計算しよう

1年目の利益 万円 ± 2年目の利益 万円

= 万円

⑫今後の経営に必要なことや、今後も継続させたいことは何か考えよう

政府が環境補助金を給付！

政府が、環境対策を行っている企業に対し、補助金を給付することを決定した！

- 環境対策をしている店 → +200 万円
- 環境対策をしていない店 → ± 0 円

近くに大型団地が建設された！

町の人口が増え、店に来るお客さんも増えた。

- 1食 300 円の店→5000 食増
- 1食 400 円の店→4000 食増
- 1食 500 円の店→3500 食増
- アルバイトを雇っている店→1000 食増
- アルバイトを雇っていない店→± 0 食

アルバイトが急に辞めた。

バイト代は払わなくて済むが、たくさんのお客様に対応できなくなかった。

- アルバイトを雇っている店

バイト 1 人 → マイナス 150 万円

バイト 2 人 → マイナス 200 万円

バイト 3 人 → マイナス 250 万円

- アルバイトを雇っていない店 → ± 0 円

情報誌で紹介された！

情報誌で、「おいしく、環境に優しい店」として紹介され人気UP。

- 1食 300 円の店→5000 食増
- 1食 400 円の店→4000 食増
- 1食 500 円の店→3500 食増
- 環境対策をしている店→2000 食UP
- 環境対策をしていない店→売上げ ± 0 食

近所にライバル店出現！

ライバル店にお客を取られて、売上げ減少。

- 1食 300 円の店→3000 食減
- 1食 400 円の店→4000 食減
- 1食 500 円の店→5000 食減

テレビの健康番組で牛肉批判！

テレビで、ある健康番組が牛肉は健康に害があると報じ、牛丼を食べる人が減少してしまいました。(風評被害)

- 1食 300 円の店→3000 食減
- 1食 400 円の店→4000 食減
- 1食 500 円の店→5000 食減

強盗が入った！

店員に怪我はなかったが、その日の売り上げを盗まれた上に、治安の悪い店として評判を落とし、売上げが減った。

- 1食 300 円の店 → 3000 食減
- 1食 400 円の店 → 4000 食減
- 1食 500 円の店 → 5000 食減
- アルバイトを雇っている店 → ± 0 食
- アルバイトを雇っていない店 → -100 万円

原材料の牛肉の値段が高くなった！

牛の感染症が発生し、検査の結果安全と認められる肉しか販売できなくなったため、牛肉の価格が上昇した。

- どの店も 100 万円マイナス

授業の事後分析

成果

- ・シミュレーションというスタイルの授業にしたことで、生徒が参加しやすくなり、どの生徒も意欲的に学習活動に取り組むことができた。
- ・グループごとの活動にしたことで、生徒同士が意見を交換する場面を多く作り、自分の意見を言う場面を生み出すことができた。
- ・ただ、売上げを上げることだけが企業の目的ではなく、企業の経済活動には雇用の確保や環境への配慮など果たすべき役割や責任があることに言及できた。
- ・今回授業を行った情報処理科は、商業科目である「簿記」や「原価計算」の授業で営業利益の出し方などを学習する。こういった専門的な学習の前段階として今回の授業を位置付けるなど、他教科との連携を図れる可能性があることにも気付けた。

反省と課題

- ・これまで学習した経済分野を復習する意味で計画した授業であったが、生徒にとっては教科書で学習した内容と今回のシミュレーションに乖離があるようであった。また、復習であることを意識するあまり、導入部分が堅苦しくなっていたとの指摘を参観者からいただいた。生徒の興味を引くエピソードを提示するなど、導入部分への工夫が必要であった。
- ・シミュレーションと教科書での学習内容をいかに関連させて考察させられるかが、今後の課題である。
- ・「牛井屋経営シミュレーション2」を参考にして手を加えた分、細かなところまで考えが及ばず、生徒に混乱を生じさせた点があった。(例えば、販売食数やアルバイトの人数など)今後、条件を変えて何度か授業を行うことで、より実際に近く、生徒にも分かりやすい授業ができるようにしたい。
- ・時間配分について、最初の「メリット」、「デメリット」を挙げさせるところに時間が掛かりすぎた。また、販売食数を当初から提示することで、生徒が経営方針を立てる時間を短縮することができたと考えられる。
- ・今回は、8種類のカードを教師側が用意し、無作為に引かせた。授業時数が許せば、あらかじめどのような出来事が起こりうるかを生徒に考えさせてもよかった。また、班によって差を出すため、あらかじめ2枚組にしたカードを、教師が配る方法も採れるのではないかと思う。

※後日、他クラス(普通科)において、今回の研究授業の参考とした「牛井屋経営シミュレーション2」を使った授業を行った。

- ・経営方針の選択肢が二つである分、選択しやすいうようであった。(研究授業では、例えば牛井1食の価格を300円、400円、500円から選ばせたところ全てのグループが真ん中の400円を選択するという事態が生じた。)
- ・カードが4種類であり、どの班にも同じカードを渡した。「よい出来事」×2枚、「よくない出来事」×2枚というカードしかないのも、混乱はなかったが、研究授業のときに生徒がカードを開けたときのような盛り上がりはなかった。
- ・全体的に混乱せず、落ち着いてシミュレーションを進めることができた。しかし、淡々とシミュレーションが進められたという印象も受けた。強調して教えたい項目に合わせたカードを用意するというのも一つの方法であると考えた。(今回の研究授業のように、総まとめとして行くと、課題に挙げたように煩雑になりすぎて、生徒に伝えたいことがぼやけてしまう恐れがある。)

生徒の振り返りから(授業を終えての感想など)

改善点

- ・アルバイトが何人でも売れる数量は同じという設定なのに、出来事カードでアルバイトが辞めることになったとき、アルバイトを雇っている人数で売上げが変わるのはおかしいのではないか。
- ・従業員の数と売上げがもっと関係性をもっていたら面白いと思った。
- ・何か自分たちで作って売るというシミュレーションの方が面白いと思う。
- ・牛丼1食の価格と店の利益の関係に余り大差がないように思った。

シミュレーションを終えての感想

- ・今回のゲームで、お店の経営をしていくことの大変さが分かりました。まず、店の基本方針を考える場面では、利益や費用のことを踏まえながら、価格やアルバイトの人数を考えていきました。
- ・グループのみんなと協力して、どうすれば効率よく牛丼屋の経営ができるかを考えるのが面白かったです。意見のぶつかり合いもあったので、よい話し合いができたと思います。
- ・一人で考えるのはよく分からなかったりするけど、相談し合って考えるのはいろんな意見が出て面白いと思う。グループごとにそれぞれ違った考え方が出てくるから、たくさんの意見・考え方を出すには、この方法で授業できたらいい。
- ・自分たちの考えた設定が売上げとして現れ、その後、実際にありそうな出来事によって売上げが減り、悔しがりながらも原因を考えて、楽しんで授業できてよかった。
- ・最初予想していたより半分以下の利益になってしまい、少なすぎてやっていけるのかなと思ったし、世の中何があるか分からないなと思いました。他の店では売上げがプラスになるところもあってうらやましかった。
- ・グループの中で自分の意見が言えたのでよかった。
- ・利益が出るかどうかはカードで決まるのでドキドキした!!
- ・店の営業にはいろいろと大変なことがあると分かりました。～中略～班では店長の〇〇君が、リードしてくれて「こうするといい」などと考えてくれたのでよかったと思いました。
- ・自分がもし経営をするならという視点でゲームに参加できました。

お店の経営に大切なことは？

- ・売上げを伸ばすために、少しでも安い価格で売れることを考えたが、きちんとしたお店の状況を作ること、価格が高くても売上げはあるから、店の状況をよくすることが大切だと思った。
- ・まず、環境対策は大切だと思った。環境対策をしない店は評判が下がってお客が来なくなってしまう。
- ・今回、自分たちの利益のことだけを考えて経営しました。他のグループの話を聞いていると、「他の人の力になればいい」という意見が出てきていたので、社会全体に協力できなかったことが残念です。
- ・自分たちの利益も大切だけど客が何を求めているのか予想すること。
- ・社会の動きを予想しつつ、自分たちの利益UPを考えた経営をする。
- ・最近の景気はどうかなど、世間を知っておくべき。また、その情報に対してどのように対応していくかなどの知識も必要。

考查問題

問題 授業で行った「牛丼屋経営シミュレーション」を思い出しながら、次の問いに答えなさい。

問1 これまで牛丼1食を400円で販売してきた店が、牛丼1食の価格を300円に値下げしたとします。このとき、店にとってどのようなメリット(解答欄A)・デメリット(解答欄B)があるでしょうか。下の枠に当てはまるようにそれぞれ書きなさい。

| 牛丼1食の価格を400円から300円に値下げしたときの | |
|-----------------------------|-------|
| メリット | デメリット |
| A | B |

問2 「牛丼屋シミュレーション」では、「ライバル店の出現」や「大型団地の建設」などといった出来事が書かれたカードを引くことで、店の売上げが増減しました。

あなたは、先に挙げた二つの出来事の他に、どのような内容のカードを作りますか？店の売上げが「プラスになるカード」と、「マイナスになるカード」の2種類を考えて書きなさい。また、それぞれのカードの説明となるように、例に倣って簡単な説明を書きなさい。

<例>

| プラスの出来事カード | |
|--|-------------|
| 「 | 情報誌で紹介された！」 |
| 説明 地域の情報誌で、「おいしく、環境にも優しい取組をしている店」として取り上げられ、店の評判がよくなったことでお客が増えた。 | |

<解答欄>

| プラスの出来事カード | |
|------------|---|
| 「 | 」 |
| 説明 | |

| |
|---|
| マイナスの出来事カード 「 」 |
| 説明 |